

www.r-toolbox.jp

toolbox

天井スリットファン

目次

安全上のご注意	1
付属品一覧／各部の名称	2
据付け前の確認	3
据付け手順	4
お手入れ方法	8

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。

 警告	警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。	 禁止事項	 指示に従う
 注意	注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。	 接触禁止	 水濡れ禁止
		 分解・修理 ・改造禁止	 感電注意

株式会社 TOOLBOX

URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

安全上のご注意

はじめに

こちらの商品は、既製品の天井換気扇を天井に埋め込むためのパーツです。
天井換気扇本体の施工や、ダクト・電気の接続は、換気扇の機器本体の取扱説明書をご確認ください。

警告

-  **ガス漏れに気付いた時は、換気扇のスイッチの入・切をしないでください。**
爆発・引火の原因になります。
-  **製品に直接水やお湯、カビ取り剤などをかけないでください。**
ショート・感電の原因になります。
-  **改造や工具を必要とする分解はしないでください。**
火災・感電・ケガの原因になります。
-  **交流 100V を使用してください。**
直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因になります。
-  **メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように据付けてください。**
漏電した場合、発火の原因になります。
-  **電気工事の際、裸線に接触しないでください。**
感電の原因になります。

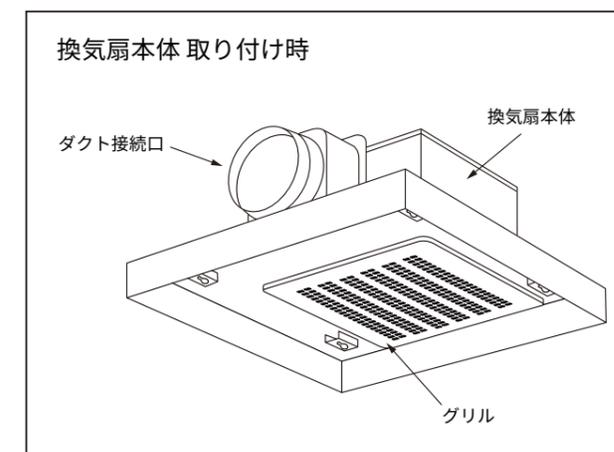
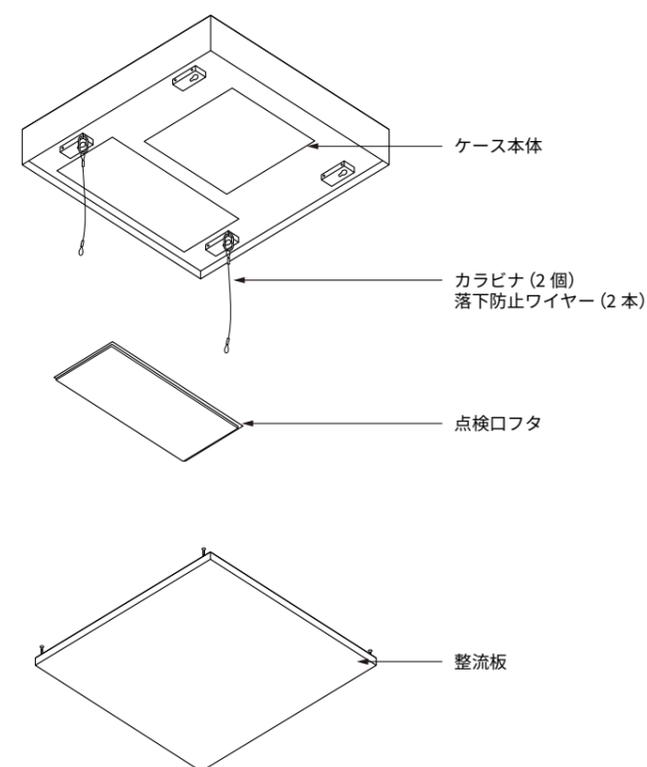
注意

-  **直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けしないでください。**
火災の原因になります。
-  **中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けしないでください。**
本体・部品の落下によるケガの原因になります。
-  **浴室などの湿気が多い場所には据付けしないでください。**
感電・故障の原因になります。
-  **据付けの際は必ず手袋を着用してください。**
ケガの原因になります。
-  **本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。**
落下の原因になります。
-  **部品の据付けは確実に行ってください。**
落下の原因になります。
-  **電気工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。**
接触不良や誤った電気工事は感電・火災の原因になります。

付属品一覧

	ケース取付ビス	皿ビス L40	10 本
	換気扇固定ビス	ドリルビス L20	10 本
	天井材取付ビス ※ 整流板仕上げタイプのみ同梱	ドリルビス L20	6 本
	カラビナ		2 個
	落下防止ワイヤー		2 本

各部の名称



据付け前の確認

⚠ 注意

中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所に据え付けしないでください。
本体・部品の落下によるケガの原因になります。

■ 据付けにあたって

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ消防署にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けしないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けしないでください。シャッター開閉不良・振動・異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 台所用としてご使用の場合、火災予防条例などの法規制があります。
- 油煙の発生する場所に据えつける場合は、必ず別売りのグリルスフィリターを、換気扇本体のグリルに取り付けてご使用ください。

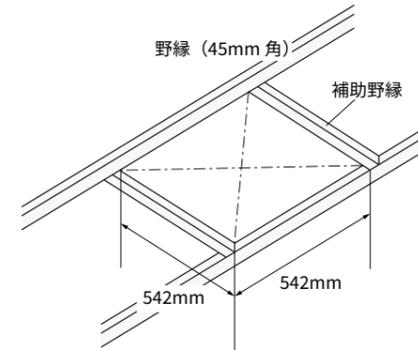
■ ダクト工事

換気扇本体の施工説明書をご確認ください

据付け手順

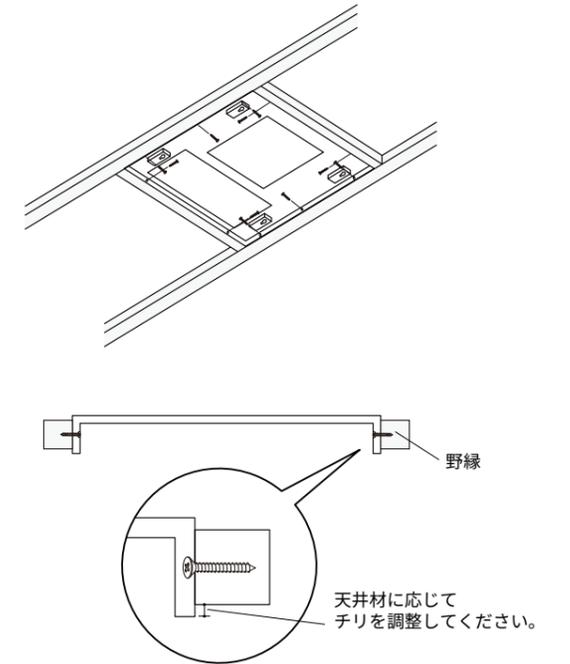
① 据付枠を組む

図のように天井野縁と補助野縁で据付枠を組みます。



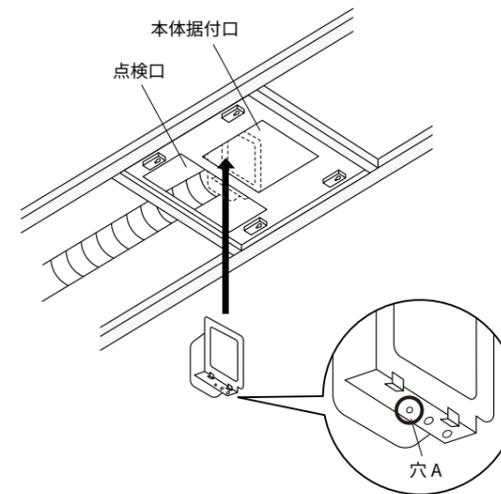
② 換気扇カバー本体を野縁に固定

長穴にビスで仮固定してチリを調整します。
その後丸穴にビスでとめ固定します。



③ ダクトを接続する

ダクト接続口をダクトと接続し、本体据付口の角に合わせ隙間がないように付属のドリルビスで固定します。
(A 印の穴を利用します。)

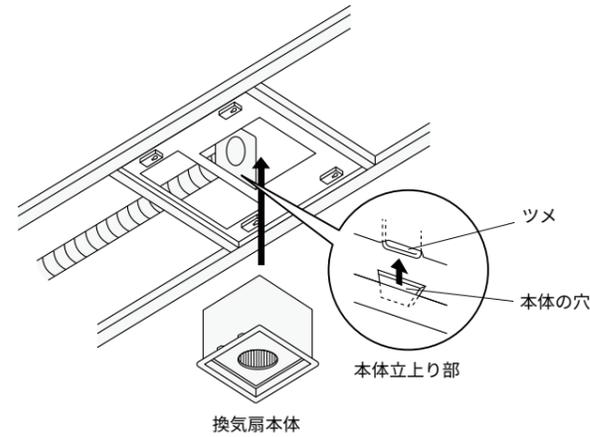


4 換気扇本体の差し込み

換気扇本体の穴と、ダクト接続口の内側のツメおよび本体の立上り部と、ダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続する。

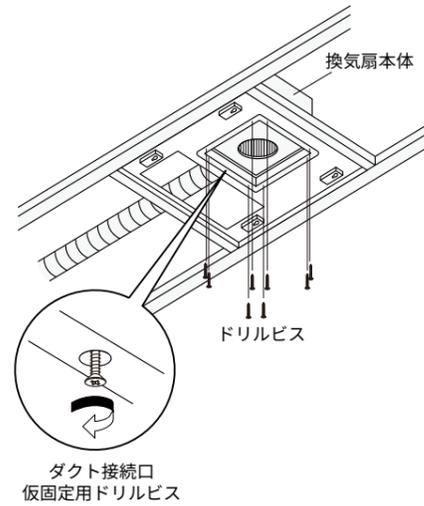
⚠ 注意

羽根を持って本体の据付けを行わないでください。
本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります。



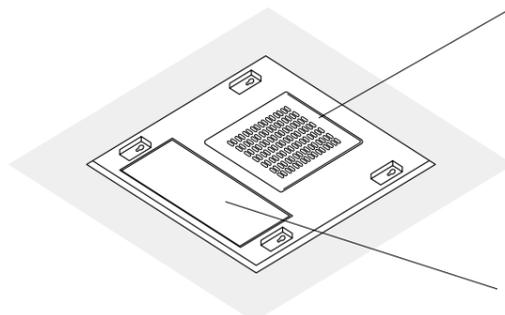
5 換気扇本体の固定

1. 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属のドリルビス8本で本体を隙間のないようしっかり固定します。
(隙間があると風漏れの原因となります。)
2. ダクト接続口を仮固定しているドリルビス1本を締め付けてください。
3. 風邪漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングしてください。



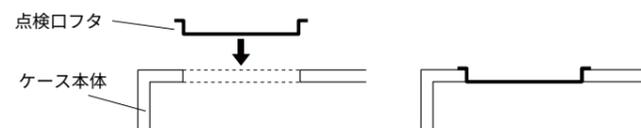
6 グリルの据え付け

換気扇本体の施工説明書をご確認ください。

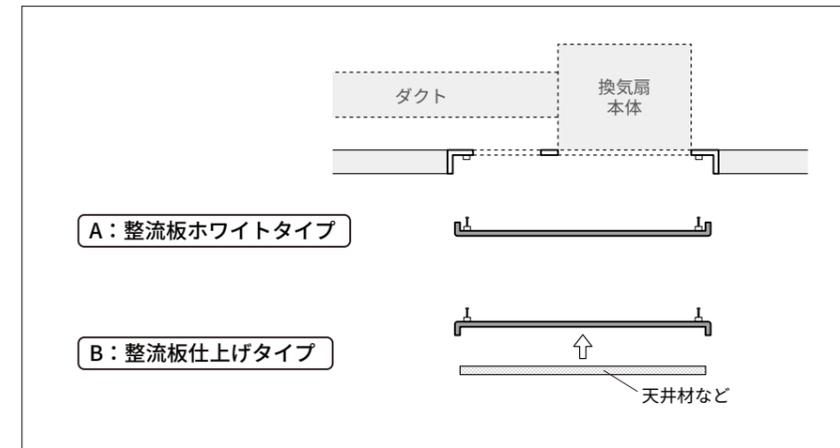


7 点検口の設置

点検口をフタで閉じてください。

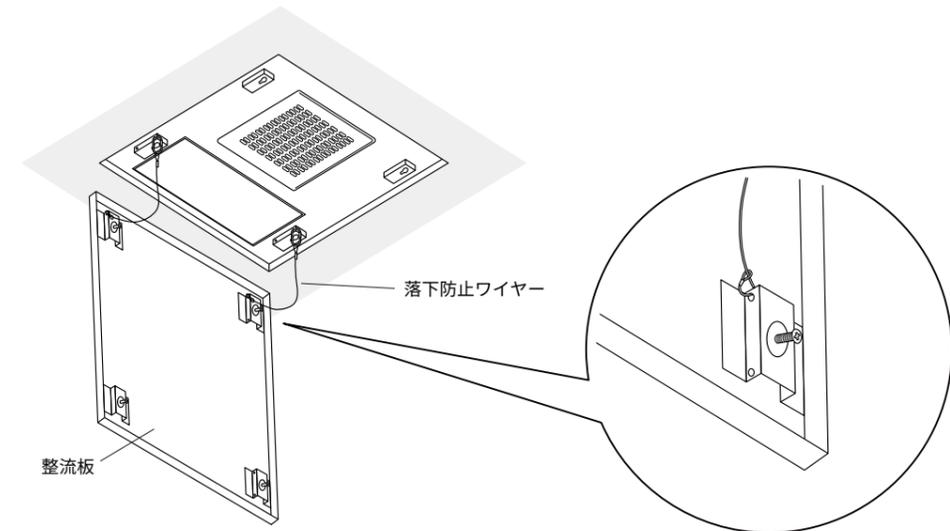


8 整流板の設置

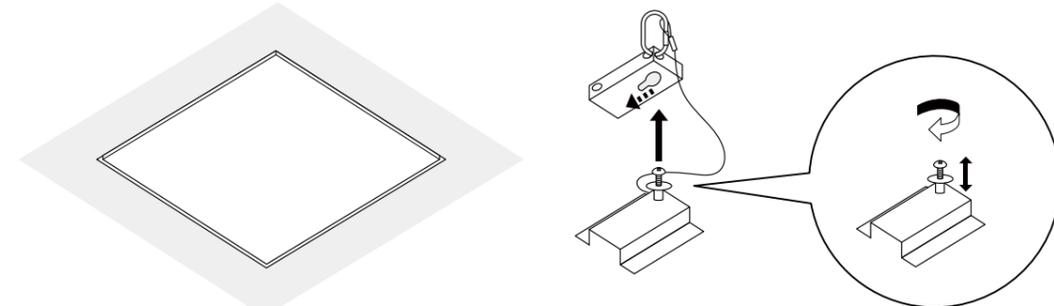


A: 整流板ホワイトタイプ

1. 落下防止ワイヤーで本体の引っ掛け穴に通し、ワイヤーのカラビナを整流板の穴にはめてください。

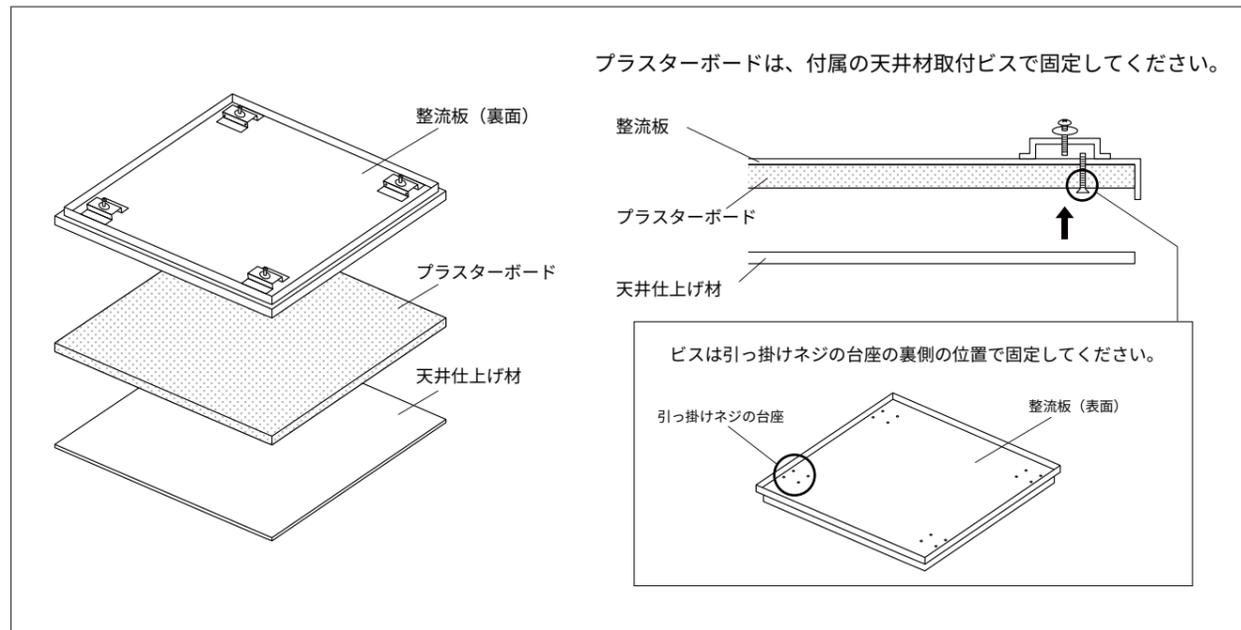


2. 整流板の引っ掛けネジを、本体の引っ掛け穴にかけます。

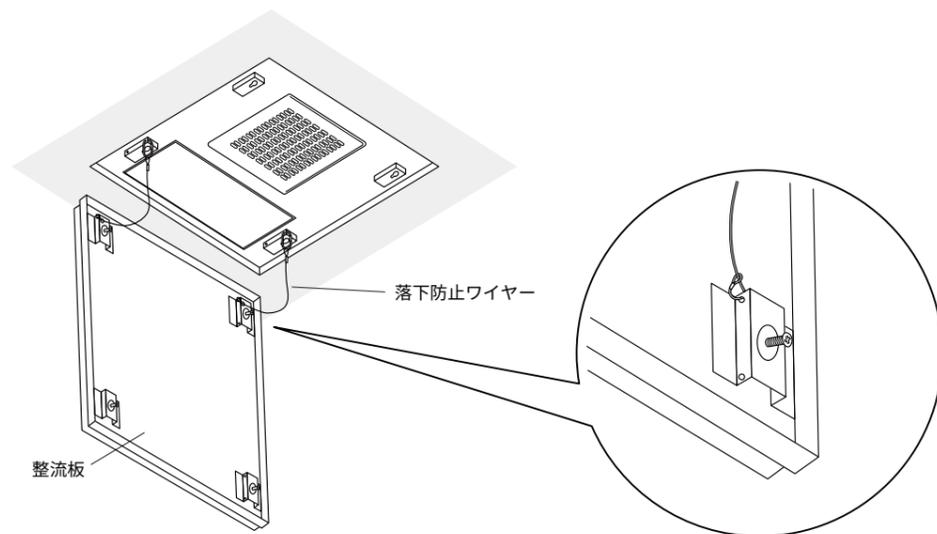


整流板の高さを変更したい場合は、引っ掛けネジで調整します。
ビスの出が短いと引っ掛けにくい場合がありますので、ビスの出を調整してご使用ください。

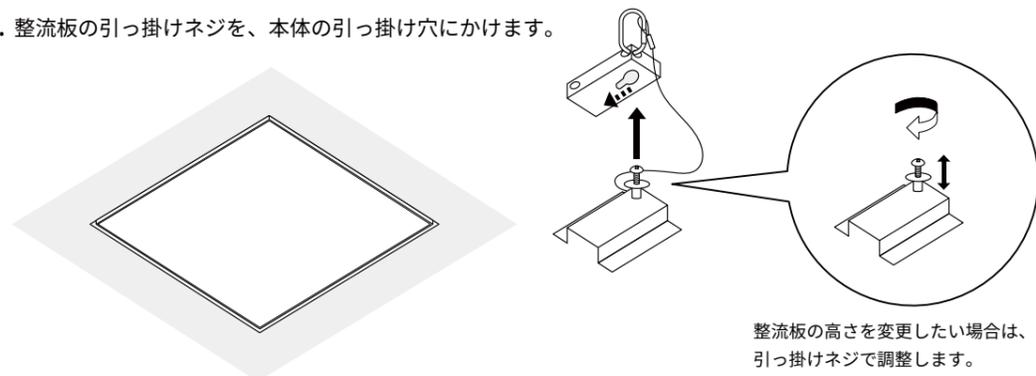
B：整流板仕上げタイプ



1. 落下防止ワイヤーで本体の引っ掛け穴に通し、ワイヤーのカラビナを整流板の穴にはめてください。



2. 整流板の引っ掛けネジを、本体の引っ掛け穴にかけます。

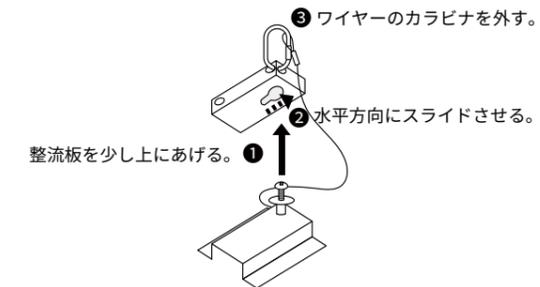


整流板の高さを変更したい場合は、引っ掛けネジで調整します。ビスの出が短いと引っ掛けにくい場合がありますので、ビスの出を調整してご使用ください。

お手入れ方法

換気扇本体は機器の取扱説明書をご確認ください。

■ 整流板の外し方



⚠ 警告

電源部品は水に浸けたり掛けたりしないでください。ショートや感電の恐れがあります。お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。感電の恐れがあるので、分電盤のブレーカーを濡れた手で入/切操作をしないでください。

⚠ 注意

- 部品の取り外しや取付けは落下させないように両手でしっかり支えながら行ってください。
- 落下防止のため部品の取り付けは確実に行ってください。
- 60°C以上の熱湯は使用しないでください。
- 中性洗剤を使用してください。(洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みください。)
- あまり汚れないうちに掃除してください。
- ファンモーター部には直接洗剤をかけないでください。故障の原因になります。
- 必ず手袋を着用してください。
- 取り外しの際は、油ダレに十分ご注意ください。